

## R4.11.8 兵庫県水上オートバイ対策連絡調整会議（第3回）

### 結果概要

#### 1 連絡調整会議とは

水上オートバイ対策を具体的に推進していくため、海上保安部や神戸運輸監理部、兵庫県警に加え、地域の取組みや課題を把握している市町、ユーザーへの指導啓発を行う民間事業者等が参加し、官民連携による連絡調整会議を設置（R4.6）

第1回：R4.6.2 第2回：R4.6.30 第3回：R4.11.8（今回）※今年度最後

#### 2 参加者

別添の出席者名簿のとおり 【構成員・オブザーバー 約30名が参加】

#### 3 議題

##### （1）今年度の取組みについて

- ・ ①条例改正、②自主ルール策定、③合同パトロールの実施、④啓発看板の設置  
⑤安全宣言ショップの創設、⑥国への要望活動、について報告

##### （2）安全宣言ショップについて

- ・ 今年度実績（全12事業者、啓発実績2,593人等）について報告

##### （3）事故発生状況について

- ・ 第五管区海上保安本部管内では、水上オートバイの衝突事故が昨年3件から今年0件と減少。118番への苦情件数も53件から36件に減少。
- ・ 第八管区海上保安本部管内では、昨年・今年とも衝突事故は0件。118番は4・5件で横ばい。
- ・ 兵庫県警では、今年、単独転覆事故を1件1名確認した、前年は3件6名。110番通報は31件から25件へ減少した。改正条例に基づき検挙した案件は0件。

##### （4）令和5年度の取組みについて

- ・ 安全安心な兵庫の海づくりに向け、引き続き官民連携で取り組む。

##### <主な意見>

- ・ 今年度、衝突事故が0件であったのは、条例改正を始め、合同パトロールや啓発活動の実施など、官民連携で取り組んできた成果。
- ・ 昨年度の事故報道の影響等もあり、今年の水の上オートバイ利用者は減少している。今後、利用者が増加しても無事故が続くよう、取組を継続することが大事。
- ・ 118番への苦情件数について、明石市では減少したが淡路島は横ばい。来年度は淡路島での合同パトロール等についても頻度を増やして欲しい。
- ・ 兵庫県の取組みを広く周知するために、マリンスポーツ大会での啓発活動や、各種団体との連携を進めていくべき。

#### 4 来年度の予定

6月頃に第1回会議を実施し、来年度の取組内容について確認・調整する。